

取扱説明書

目次

はじめに

- ご使用の前に / 特長・・・・・・・・・・ P.1
- 安全上のご注意・・・・・・・・・・ P.2
- 使用上のご注意・・・・・・・・・・ P.3
- 構成品・・・・・・・・・・ P.4-7
- 各部の名称と機能・・・・・・・・・・ P.8
- 実習項目・・・・・・・・・・ P.9-10

実習の準備

- かつらの取り付け・取り外し・・・・ P.11
- マスクの取り外し・・・・・・・・・・ P.12

実習

- 超音波検査トレーニング・・・・ P.13-
- 妊婦腹部触診トレーニング・・・・ P.17-
- 妊婦内診トレーニング・・・・ P.26-
- 分娩介助トレーニング・・・・ P.32-
- 会陰裂傷縫合トレーニング・・・・ P.39-
- 産じょく子宮触診トレーニング・・・・ P.42-
- 硬膜外穿刺・・・・・・・・・・ P.45
- 経管栄養・・・・・・・・・・ P.46
- 清拭・部分浴・・・・・・・・・・ P.47
- 体位変換・体位保持・・・・・・・・・・ P.47
- 口腔ケア・酸素吸引・・・・・・・・・・ P.48
- 吸引（経鼻・経口・気管切開部）・・・・ P.49
- 点滴静脈内注射・・・・・・・・・・ P.50
- 気道確保 / 気管挿管の準備・介助 / 胸骨圧迫・・・・ P.52
- 気道確保・気管挿管の準備と介助・・・・ P.53
- 《オプション》皮下注射 筋肉内注射（上腕）・・・・・・・・・・ P.54



■ご使用の前に

この度は「周産期全身実習モデル“はな”」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、周産期にかかる総合演習が展開できるシミュレータです。

■必ずお読みください



本来の使用目的以外には、ご使用にならないでください。また、取扱説明書に記載された方法以外での
ご使用による万が一の破損や事故に関して、当社では責任を負いかねますので、ご了承ください。

■特長



- ・腹部のトレーニングセットを入れ替えることで、周産期の一連のトレーニングが可能
- ・妊産婦への基本的な対応を学べます











ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みの上で正しくご使用ください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

■ 誤ったご使用により生じる危険や損害の程度を表すマークです。

 警告	誤った取り扱い方によって、火傷やケガ、火災や感電の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取り扱い方によって、モデルやパーツの変形、破損が想定される内容を示しています。

■ 守っていただく事項の種類を表すマークです。

	してはいけない「禁止」の内容です。左図では「分解禁止」を示しています。
	必ず実行して頂く「強制」の内容です。左図では「必ず守る」を示しています。

 警告	
<p>● 付属のアダプタ、電源コードをご使用ください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付属品以外のアダプタやコードを使用されますと、火災や感電の原因となり大変危険です。 ・付属のACアダプタを他の製品に使用しないでください。 <p> 故障や火災の原因になります。</p>	<p>● 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、傷つけるなどしないでください</p> <p> 電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。</p>
<p>● 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください</p> <p> やけど・ケガ・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。</p>	<p>● 指定の電源(日本国内はAC100V)以外では使用しないでください</p> <p> 故障や火災の原因になります。</p>
<p>● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください</p> <p> 感電の原因になります。</p>	<p>● 電源プラグは、本体を持ち、確実に抜き差ししてください</p> <p> コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで火災や感電の原因になります。</p>
<p>● 絶対に分解、改造しないでください</p> <p> 火災・感電・ケガの原因になります。修理の際は販売店又は(株)京都科学までお問い合わせください。</p>	<p>● 火気類を近づけないでください</p> <p> 本体の変形や変色、電気系統のショートなど火災の原因になります。</p>
<p>異常が起きたら モデル本体や制御ボックス等が熱くなったり、煙が出た時は速やかに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p> 異臭がするなど異常な状態に気付かれた場合は、速やかに対処いただき、お買い上げの販売店、もしくは(株)京都科学までご連絡ください。</p>	

 注意**●装置やモデルに衝撃や圧力を加えないようにしてください。**

モデル本体や機器類などに衝撃を加えないようにしてください。破損の原因になります。

●サインペンやボールペンで書き込まないでください

モデル本体に書き込まれますと、インクが吸収され消えなくなります。

●モデルの汚れは乾いた布でふき取ってください。

汚れは動作を停止したのち、水または水で薄めた中性洗剤をつけて汚れを取り、乾いた布でふき取ってください。濡れたまま放置されますとカビの発生や故障の原因になります。

●表面が変色する場合があります。

長期間使用されない場合や経年変化でモデル本体が変色することがありますが、ご使用には差し支えはありません。

●高温多湿を避けて保管してください。

使用後は、高温多湿の場所や直射日光のあたる場所での保管は避けてください。変形や変色、故障の原因になります。

●特殊軟質樹脂を使用している部品は適切な使用、保管をお願いいたします。

不織布の袋に入った部品は、伸縮性と復元性、耐久性に優れた特殊な軟質樹脂を使用しているため、実習後はタルカムパウダーを塗布し、必ず付属の不織布袋で保管してください。

■ 構成品

ご使用前に、構成品がすべて揃っていることをご確認ください。

A



B



C



D



E



F



G



H



I



J



K



L



M



A	モデル本体	1 体
B	かつら (成人女性)	1 点
C	Konoha/ はな用マスク (成人女性) ※モデルに装着	1 点
D	歯 ※モデルに装着	1 点
E	正中注射パッド ※モデルに装着	1 点
F	性器部ユニット (Konoha/ はな用) ※モデルに装着	1 点
G	硬膜外穿刺パッド ※モデルに装着	1 点
H	貯水袋 (小: 排水用)	1 点
I	排水用ポンプ	1 点
J	排水用チューブ	1 点
K	トレーニングモデル用潤滑剤	1 点
L	パジャマ/下着	1 点
M	タルカムパウダー	1 点
	取扱説明書	

※ 構成品の仕様・外観などは予告なく変更されることがございます。予めご了承ください。

※以下のモジュールは、実習内容に合わせてお選びください

分娩介助トレーニング

aa



ab



ac



ad



ae



af



ag



ah



ai



aa	外陰部ユニット	1点
ab	胎児モデル	1点
ac	胎盤モデル	1点
ad	臍帯	1点
ae	卵膜 5枚組	1組
af	切断用臍帯 10本組	1組
ag	潤滑剤(500ml/バッグ及びボトル)	1組
ah	腹部カバー(分娩・内診用)	1点
ai	バット	1点

※ 構成品の仕様・外観などは予告なく変更されることがございます。予めご了承ください。

超音波検査トレーニング

ba

bb

bc

bd



妊婦腹部触診トレーニング

ca

cb



妊婦内診トレーニング

da

db

dc

dd

de

df



超音波検査トレーニング

- ba : 胎児診断部 1 点
- bb : 胎児診断部用ベース (Konoha/ はな用) 1 点
- bc : 胎児模型 1 点
- bd : 保護カバー 1 点

妊婦腹部触診トレーニング

- ca : 胎児モデル (妊婦腹部触診用) 1 点
- cb : 胎児用ベース 1 点
- cc : 専用模擬ドップラー聴診器 1 点
- cd : AC アダプター 1 点
- ce : コントローラー 1 点

妊婦内診トレーニング

- da : 外陰部ユニット 1 点
- db : 子宮口開大度モジュール 5 種組 1 組
- dc : 膣部ユニット 1 点
- dd : モデル固定ベース 1 点
- de : 潤滑剤 3 本組 1 組
- df : 腹部カバー (分娩・内診用) 1 点

※ 構成品の仕様・外観などは予告なく変更されることがございます。予めご了承ください。

会陰裂傷縫合トレーニング

ea



産じょく子宮触診トレーニング

fa



fb



fc



会陰裂傷縫合トレーニング

ea：外陰部ユニット皮膚付き
(会陰裂傷縫合用)

1点

産じょく子宮触診トレーニング

fa：子宮モデル 4種組

1組

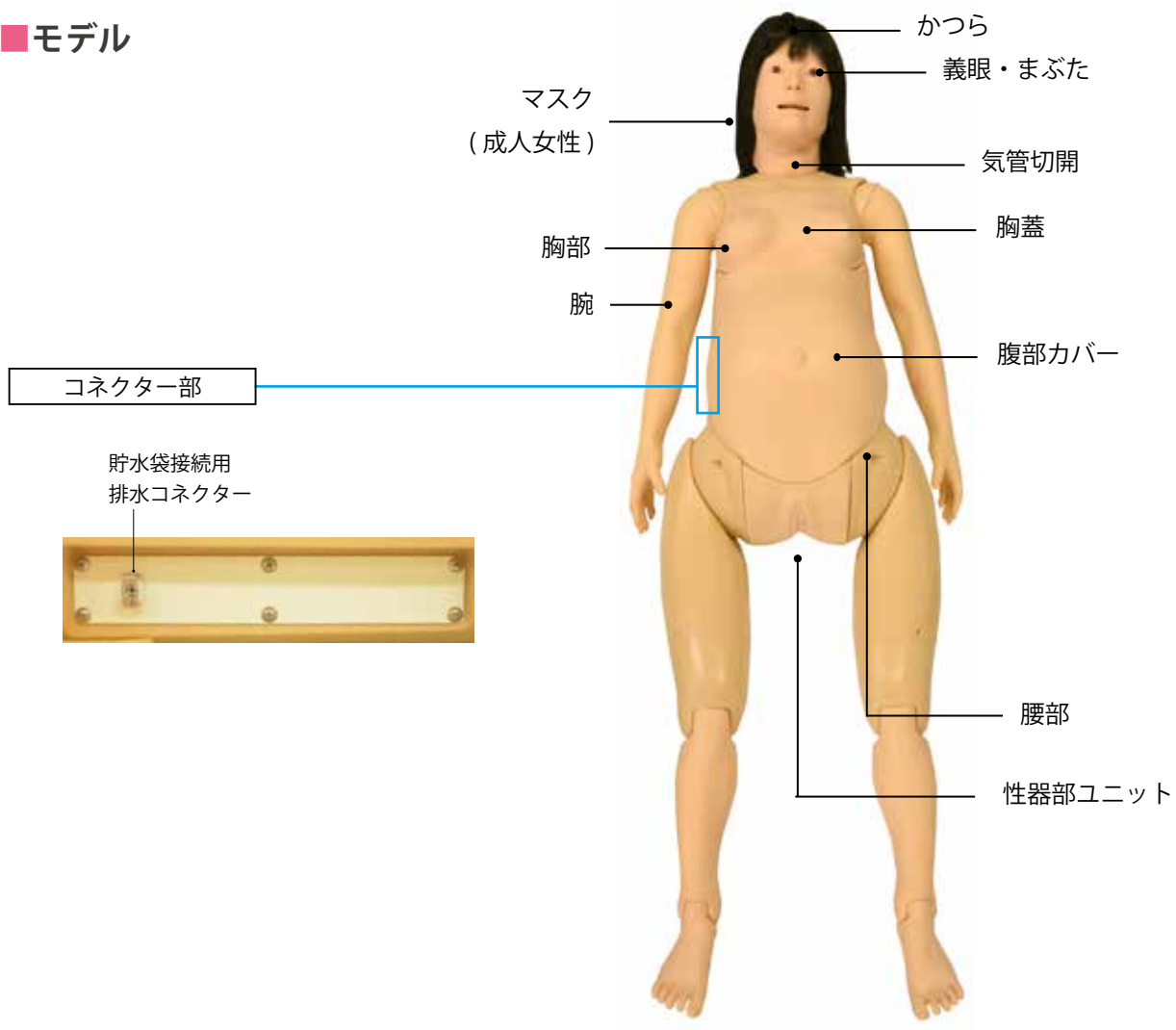
fb：子宮モデル用ベース

1点

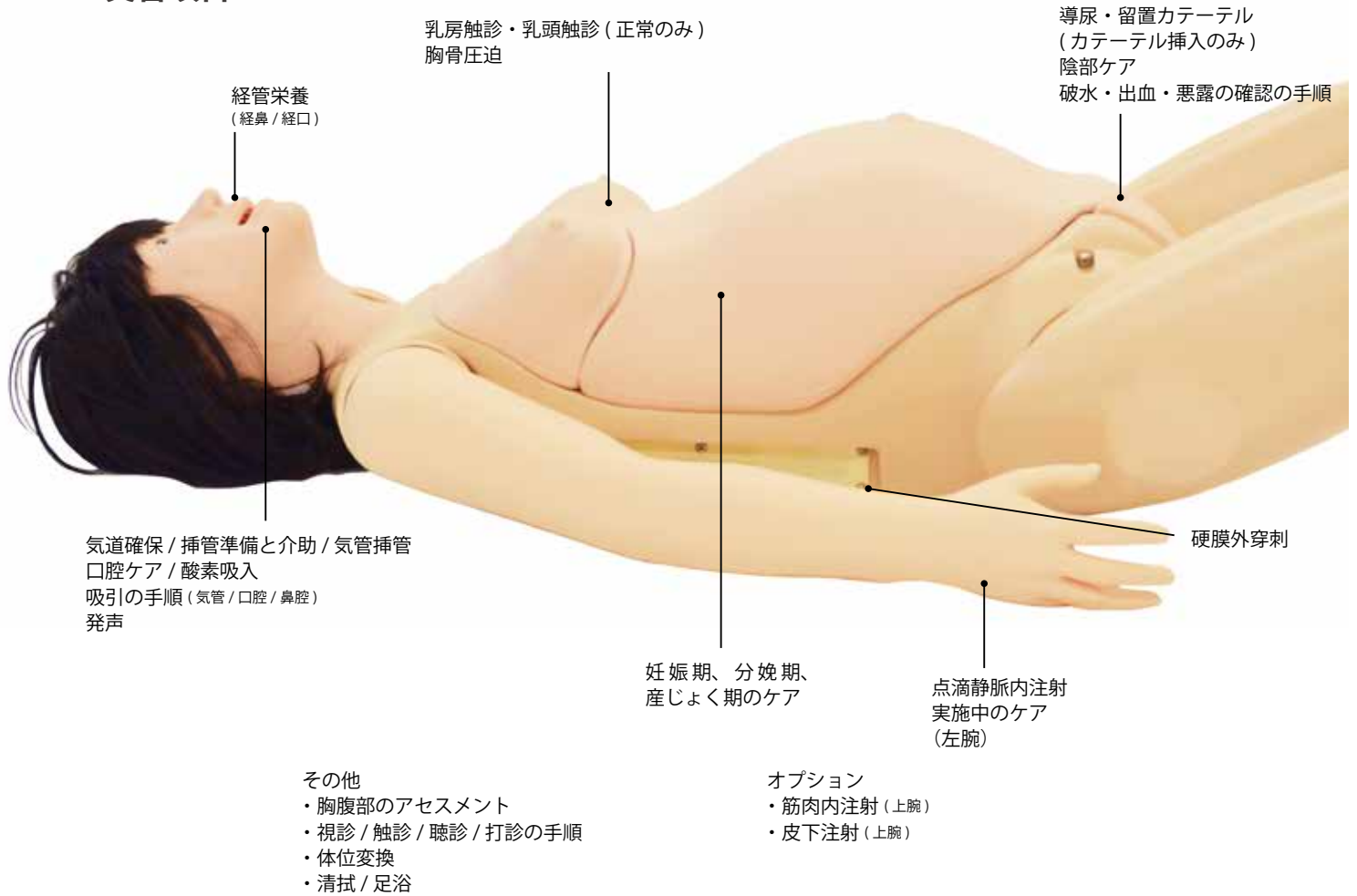
fc：腹部カバー(産じょく子宮触診用)

1点

■モデル



■ 実習項目



経管栄養 (経鼻 / 経口)
カテーテル挿入、聴診によるチューブ位置の確認、固定方法



吸引 (経鼻 / 経口)
気管カニューレの挿入、吸引手順



導尿
留置カテーテルの挿入 (カテーテル挿入のみ)



挿管介助
器具準備、聴診確認、気管チューブの固定



胸骨圧迫
胸骨圧迫法の理解



妊娠期、分娩期、産じょく期のケア
妊婦腹部触診、超音波検査、妊婦内診、分娩介助、会陰裂傷縫合、産じょく子宮触診

■ 実習項目



点滴静脈内注射（正中静脈）
安全で確実な手技と滴下の練習



点滴静脈内注射実施中のケア（手背）
安全で確実な手技の練習



清拭
清潔保持や安楽



部分浴（手浴 / 足浴）
清潔保持や安楽、ベッド上でのケアの所作



酸素吸入の手順
酸素吸入療法の理解

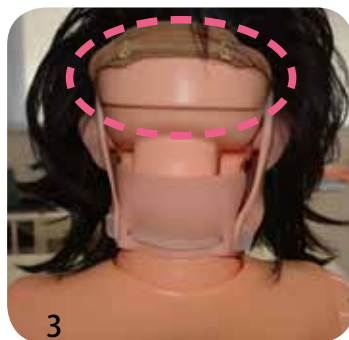


皮下注射（上腕） 筋肉内注射（上腕）
※別途別売品をお買い求めください。

① かつらの取り付け

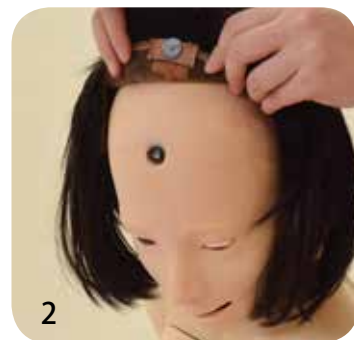
かつらは額(ひたい)中央、左右耳の前、の計3か所をマグネットで固定します。
かつらの向きはマグネットが付いている側が前になります。

1. 頭部とかつらの向きを合わせ、かつらをかぶせてから、額(ひたい)中央部のマグネットで固定します。
2. 左右は両耳の前にあるマグネットで固定します。
3. バンドを後頭部の凹みの形状にあわせ、髪をおろします。



② かつらの取り外し

1. 両耳の前のマグネットを外します。
2. 額(ひたい)中央部のマグネットを外し、マグネットを浮かせたまま後方へずらして外します。



③ かつらの手入れ

下記の手順で保管してください。

1. 使用後は丁寧にブラッシングします。
2. 型崩れしないようにかつらの中に髪を詰めます。
3. 毛先に癖がつかないようにととのえます。
4. かつらを収納袋に入れて保管します。

① マスクの取り外し

1. 気管切開部の栓を取り外します。
2. 後頭部でマスクを固定しているバンドの片側をマスクの穴からはずします。

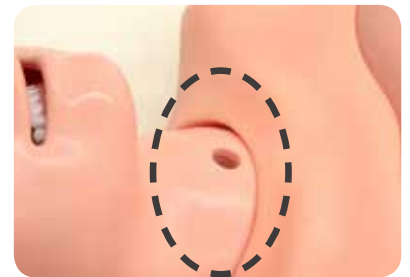
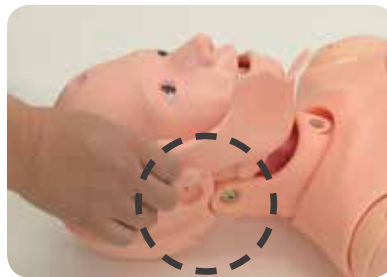


3. 首側からマスクを持ち上げ取り外します。



② マスクの取り付け

1. 頭側からマスクをかぶせ、額と両耳前方にある3か所のマグネット部にマスクの穴を合わせます。
2. 耳付近の頭部の穴にマスクの凸部を差し込みます。
3. 首の皮膚を胴体部に納めます。



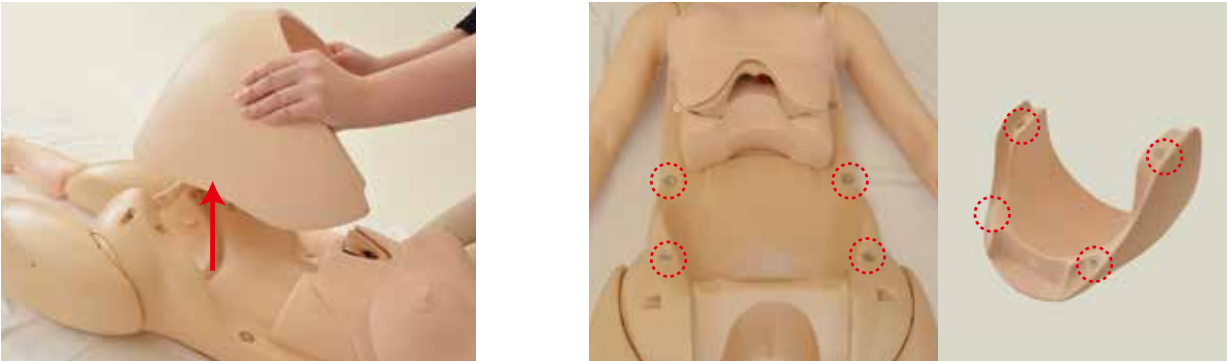
4. 後頭部でバンドをマスクの穴にはめ込みます。
5. 気管切開部の栓を取りつけます。



① 超音波検査トレーニング (準備)

モデル本体の組立

1. モデル本体の腹部カバーをはずします。カバーは4か所のマグネットでボディに固定されており、上部を持ち上げることで取り外すことができます。



2. 外陰部ユニット下部2箇所の凸部をモデル本体の凹部に差し込み、そのまま上部を押さえると固定されます。

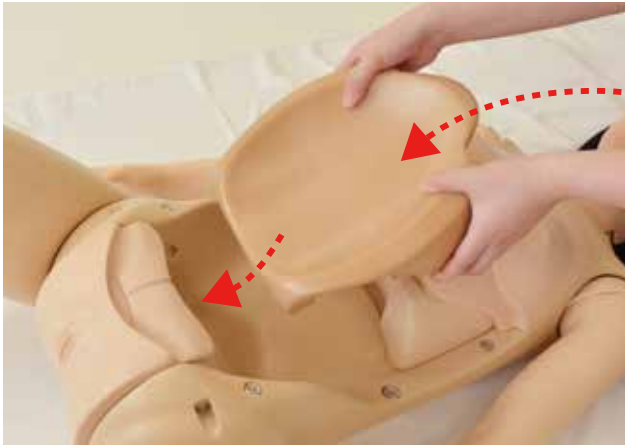


注：外陰部ユニットとボディの隙間に指を挟まないようご注意ください。



モジュールの設定

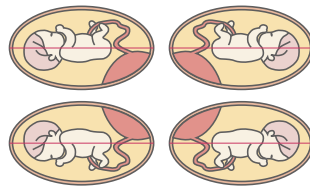
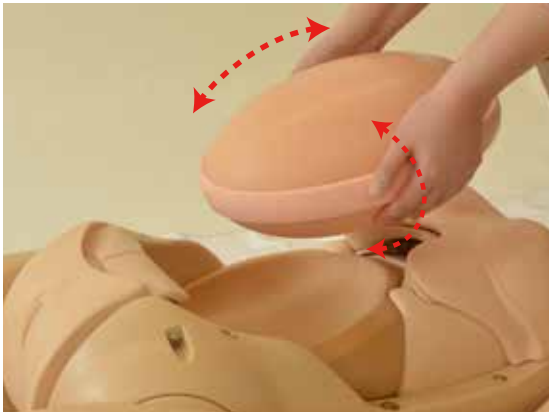
1. 胎児診断部用ベース (Konoha 用) をモデルに取り付けます。その上に保護カバーをのせます。



保護カバー

2. 胎児診断部をベースの上へ取り付けます。

胎児診断部を取り外して胎位や胎向を変えることができますので、診断したい方向に合わせてモデル本体にセットします。



3. 超音波用ゼリーを胎児診断部に直接塗ります。ゼリーは少し多めに塗布してください。



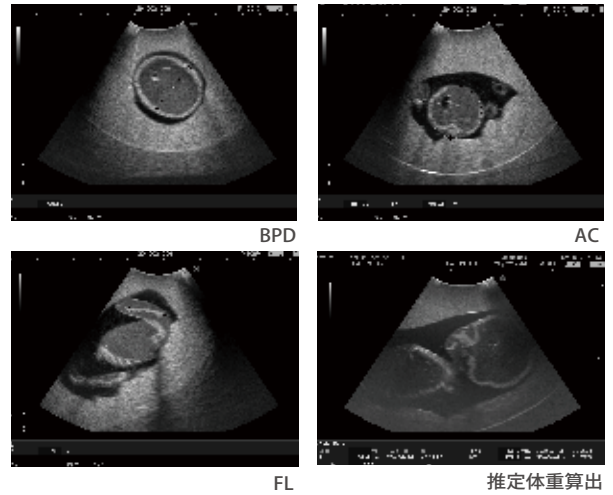
② 超音波検査トレーニング(実習)

胎児の確認と計測

1. プローブをモデルにあて、超音波画像診断を行います。
診断実習ポイントは次頁に記載しています。



● 超音波画像例



③ 超音波検査トレーニング(後片付け)

1. ウエットティッシュ等で、表面にゼリーが残らないようによく拭き取ってください。
胎児診断部や保護カバーは取り外して、水洗いが可能です。本体の水洗いはしないでください。



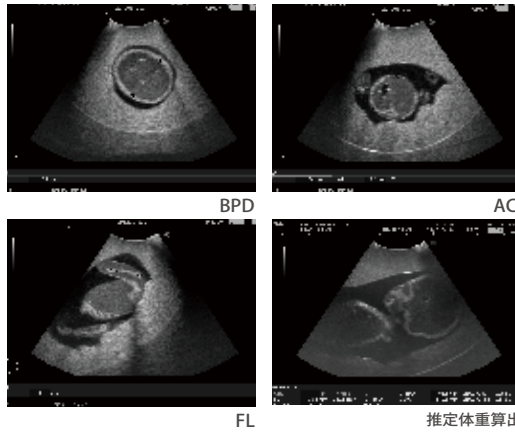
胎児の診断実習ポイント

胎児の成長状態、羊水量の確認、異常の有無、胎盤の位置、胎位・胎向・胎勢、性別等の診断
 ※プローブ2D・3Dに対応しています。

- 胎児全身観察 頭部・胸部・腹部・脊椎・四肢・性器部
- 胎児計測 BPD・AC・FL
- その他付属物の確認 羊水量・胎盤・臍帯

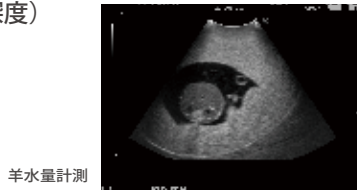
① 胎児の計測 (3か所のポイントを計測)

BPD: 児頭大横径 - 透明中隔を基準に計測
 AC: 腹部周囲長 - 胃、腹大動脈、臍静脈の部分を基準に計測
 FL: 大腿骨長 - 骨の全長を計測
 3か所のポイントを計測して推定体重を算出し、胎児の成長度合を確認。



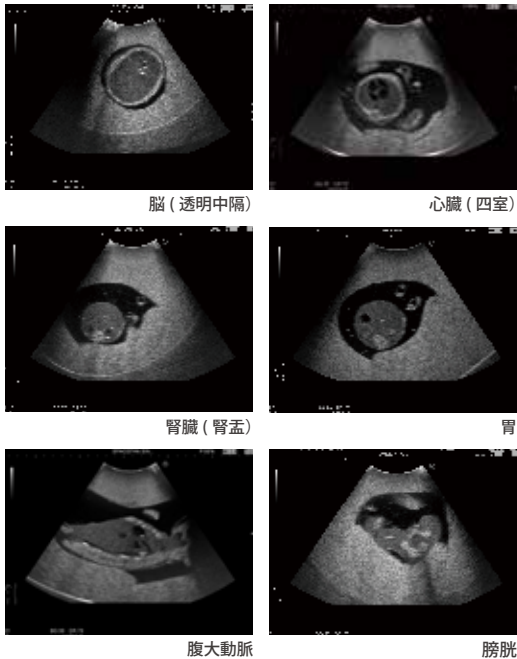
② 羊水量の計測

羊水量が一番多いところの垂直深度を計測 (最大羊水深度)



③ 頭部、胸部、腹部、脊椎等の診断

- ・頭骸骨の形状、脳の診断・脊椎、四肢などの診断
- ・心臓の四室と血管、傾き、肺の診断
- ・胃、腎臓、膀胱などの内臓や血管系の診断



④ 臍帯や胎盤の確認

臍帯と血管、胎盤の連結状況、胎盤の位置等を観察。

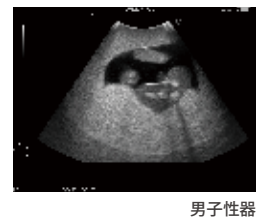


⑤ 頭位か逆子 (骨盤位) の判断

胎児診断部を置き換え、頭位や逆子かを確認。



⑥ 性別の確認 (本製品は男子)

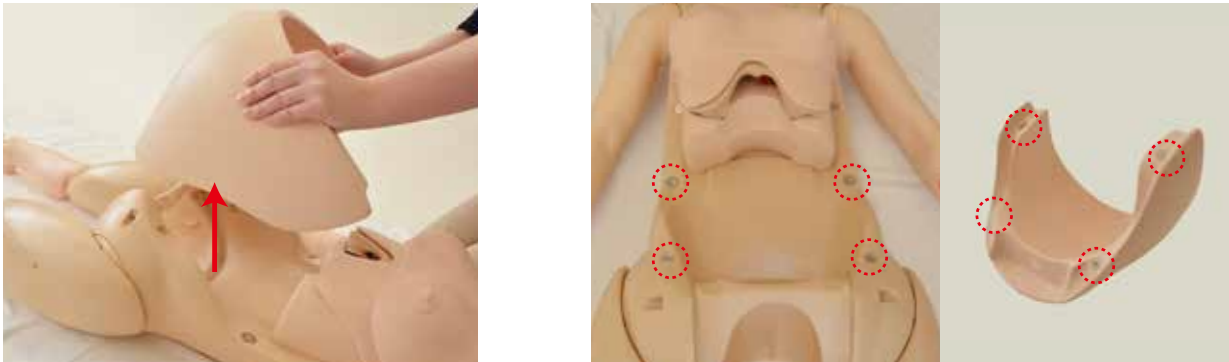


※本モデルでは、心臓の拍動や血流などの動きは観察できません。

① 妊婦腹部触診トレーニング(準備)

モデル本体の組立

1. モデル本体の腹部カバーをはずします。カバーは4か所のマグネットでボディに固定されており、上部を持ち上げることで取り外すことができます。



2. 外陰部ユニット下部2箇所の凸部をモデル本体の凹部に差し込み、そのまま上部を押さえると固定されます。

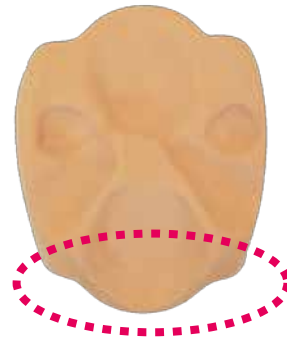


注：外陰部ユニットとボディの隙間に指を挟まないようご注意ください。



モジュールの取り付け

3. 胎児をセットするための胎児用ベースをモデル本体にセットします。このとき胎児を頭位にするか骨盤位にするかでセットする方向が変わりますのでご注意ください。



こちら側に胎児の頭がきます。

3. 胎児を土台のくぼみに合わせてセットします。胎児は左向き右向きが選べます。



右向きの場合



左向きの場合

4. 腹部カバー(腹部触診用)をセットして準備完了です。



② 妊婦腹部触診トレーニング (実習)

触診 (レオポルド触診法、ザイツ法)

ランドマークとなる骨盤の位置や形状、胎児の特徴的な部位を正確に再現しており、胎児の触診が行えます。また、ザイツ法における評価実習も可能です。

■レオポルド触診法

胎児の特徴部分(頭部、殿部、背部)を触診しながら、第1段から第4段まで、胎位、胎向、胎児の下降度を触診できます。



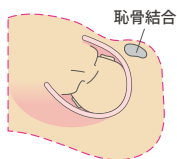
第1段

第4段

■ザイツ法

ザイツ法における適合状況の評価が可能です。本製品ではザイツ法(-)の評価となるように胎児の位置を設定してご提供しています。

●ザイツ法の評価



ザイツ法 (-)



聴診(胎児心音)

超音波ドップラー診断装置及び聴診器により録音した実際の胎児心音を聴診できます。胎児心音の音量と心拍数の変更が可能です。

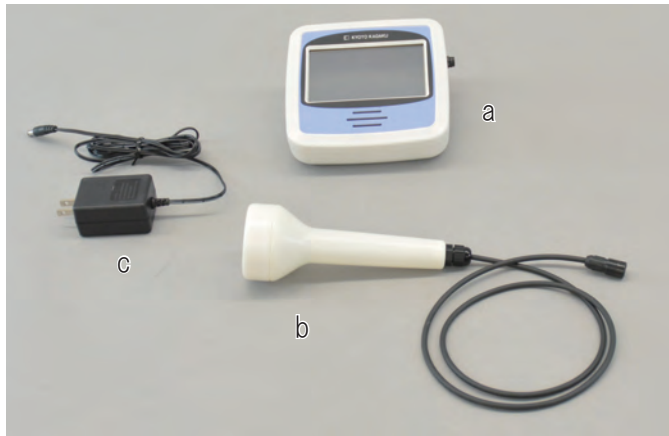


③ 妊婦腹部触診トレーニング (後片付け)

腹部カバーに付いた汚れは、水や中性洗剤を使用し、よくしぼった布等で拭き取ります。乾燥後、タルカムパウダーを塗布します。

セット構成と各部の名称

構成部品がすべて揃っていることをご確認ください。



a. コントローラー b. 模擬ドップラー聴診器 c. ACアダプター



接続

1. 模擬ドップラー聴診器をコントローラー側面のコネクタに接続します。
2. ACアダプターをコントローラー背面の電源ジャックに接続します。



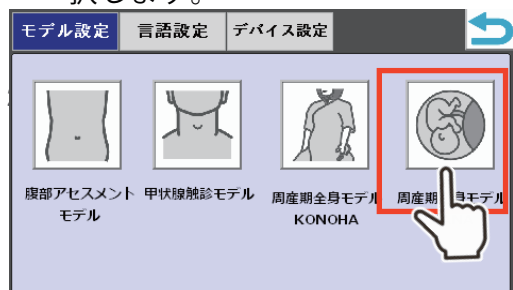
3. ACアダプターをコンセントに差し込み、コントローラー背面の電源スイッチを押します。
4. 準備完了



コントローラーの設定

※コントローラーは他のモデルと共用になっています。他のモデルに使用していない場合モデル設定の選択は不要です。

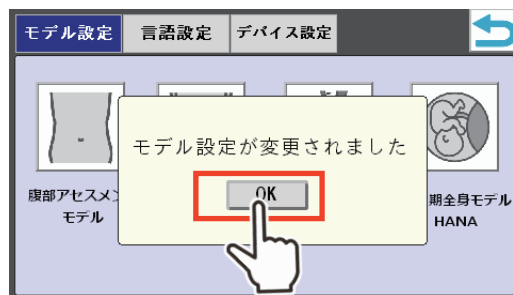
1. 「モデル設定」で周産期全身モデルHANAを選択します。



※設定画面へは、右上の歯車ボタンを選択して切り替えます。



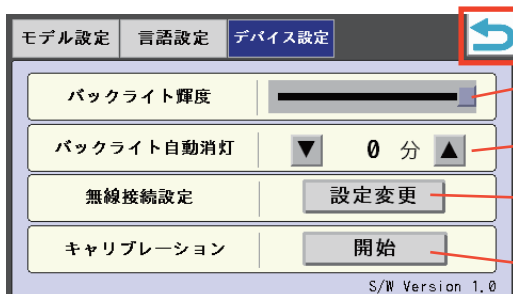
2. OKを選択すると操作画面になります。



3. 「言語設定」で日本語又は英語を選択できます。操作画面



4. 「デバイス設定」で、コントローラーのバックライト輝度、自動消灯時間、キャリブレーションができます。設定後リターンを選択すると操作画面になります。



スライドさせることで画面の明るさを調節できます

10分単位で0~80分まで設定できます

HANAでは使用しません

次頁参照

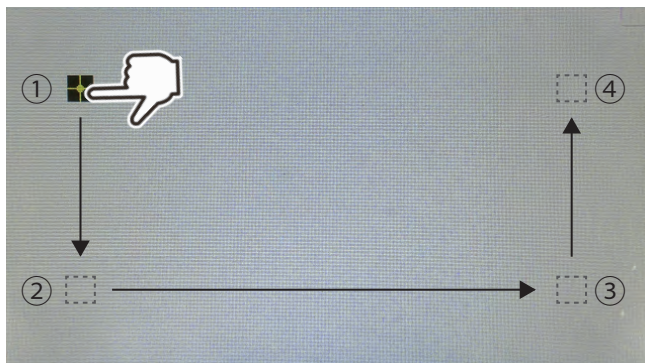
画面のキャリブレーション

※キャリブレーションは、タッチパネルのタッチが反応しない、もしくは反応位置のズレが生じたときに行います。通常は使用しません。

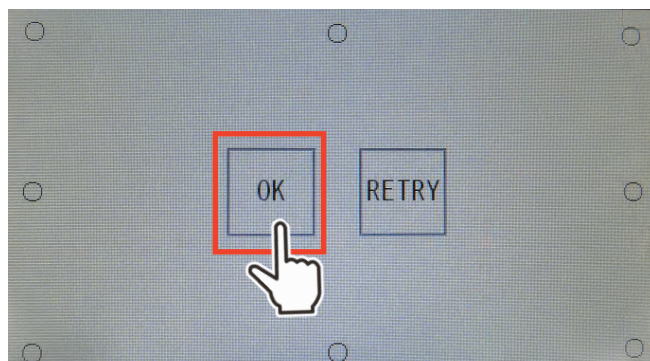
1. 「開始」を選択します。



2. 画面上の4箇所、順次タッチポイントが表示されるので、タッチします。

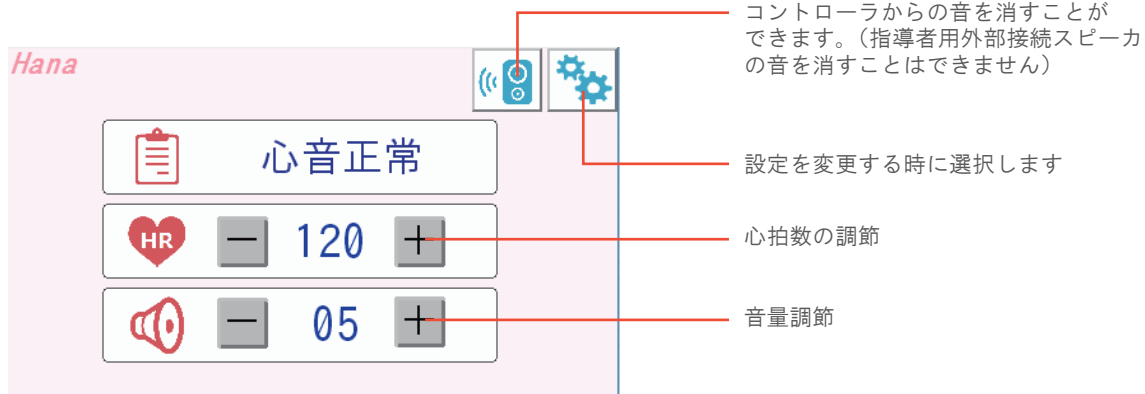


3. 全てのポイントにタッチすると確認画面が表示されるので「OK」を選択すると設定画面に戻ります。



実習（聴診）

①操作画面の名称と機能

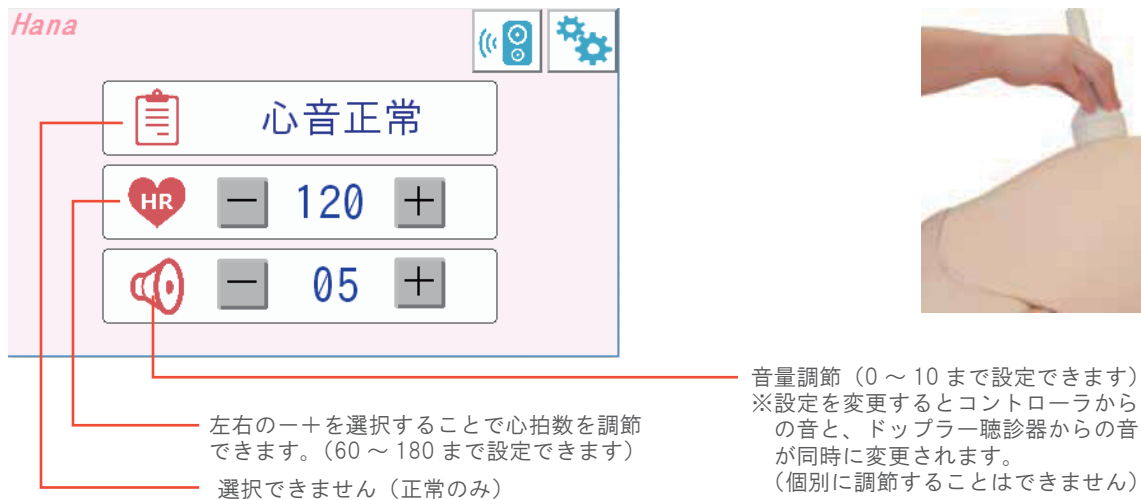


②胎児心音の聴診

1. はなのモデルに妊産婦トレーニングモデル(胎児モデル)をセットします (P18 参照)。



2. 心拍数とボリュームを選択し、モデルの腹部に模擬ドップラー聴診器をあてると胎児の心音を聴診する事ができます。



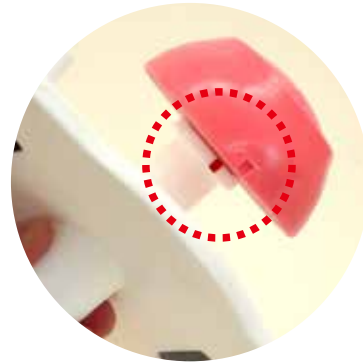
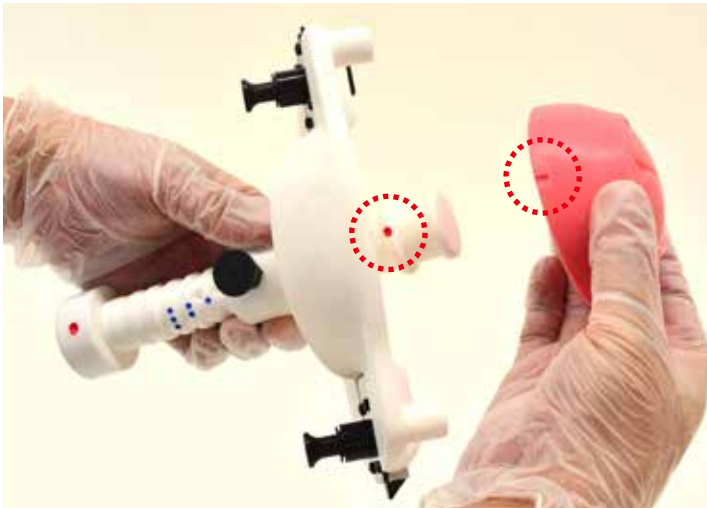
③後片付け

使用後はコントローラー背面の電源スイッチを切ってください。
どの画面の状態でも電源を切っても構いません。
※次回電源を入れたときは電源を切る前の画面が表示されます。

① 妊婦内診トレーニング (準備)

子宮口開大度モジュールの取り付け

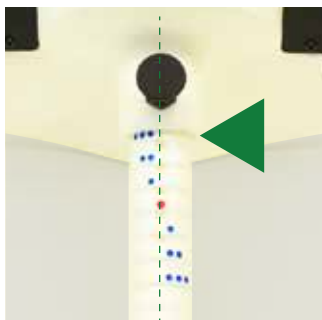
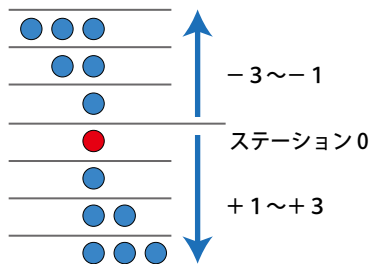
1. 子宮口開大度モジュールをモデル固定ベースに取り付けます。モデル固定ベース先端のマークと子宮口開大度モジュールの目印を合わせます。



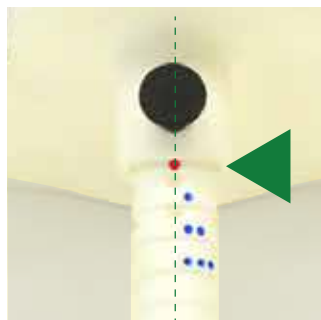
※モデル固定ベースの向きにご注意ください。先端の細い方に子宮開大度モジュールを取り付けます。

2. モデル固定ベースの黒いつまみを持ち上げると支柱はフリーに動きます。支柱に取り付けた子宮口開口度モジュールを前後に移動して、胎児の下降度を設定することができます。

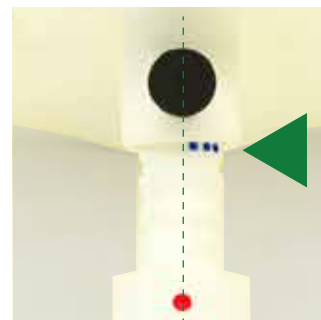
※胎児の下降度は7段階で設定することができます。



ステーション -3



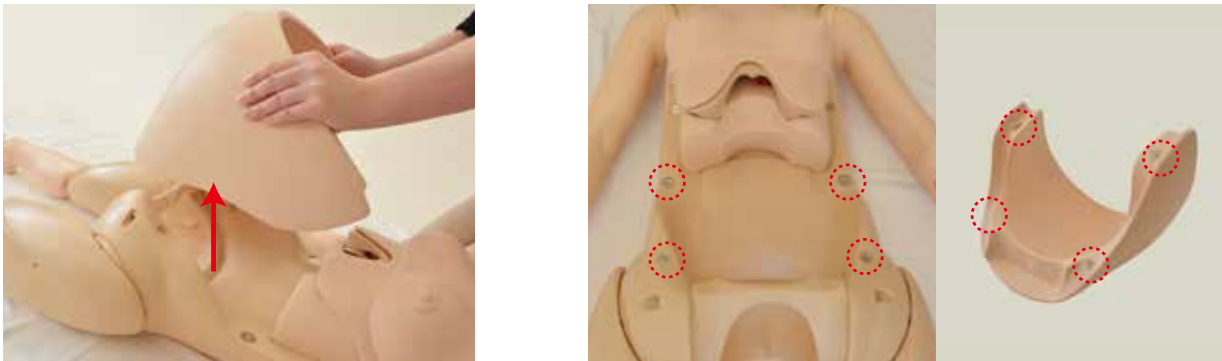
ステーション 0



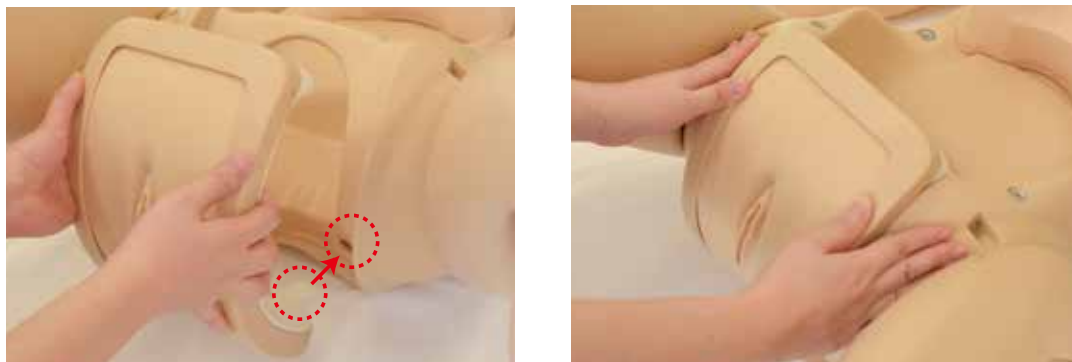
ステーション +3

モデル本体の組立

1. モデル本体の腹部カバーをはずします。カバーは4か所のマグネットでボディに固定されており、上部を持ち上げることで取り外すことができます。



2. 外陰部ユニット下部2箇所の凸部をモデル本体の凹部に差し込み、そのまま上部を押さえると固定されます。



注：外陰部ユニットとボディの隙間に指を挟まないようご注意ください。



モデル本体の組立

3. 膣部ユニットをモデル本体に取り付けます。上下方向を間違えないようにしてください。



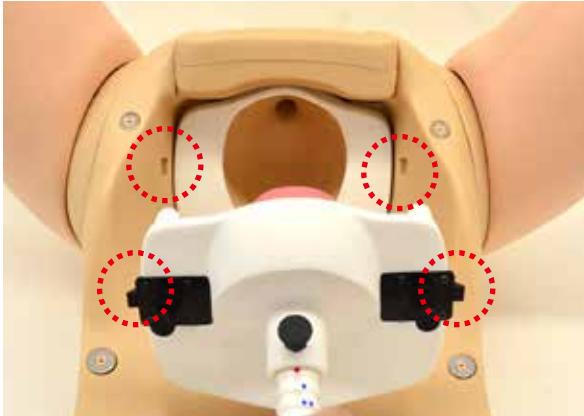
潤滑剤の塗布

1. 膣部ユニットの内側、外陰部及び子宮口開大度モジュールに付属の潤滑剤を塗布します。



子宮口開大度モジュールの取り付け

1. モデル固定ベースのモデル本体への取り付け



子宮口開大モジュールを取り付けたモデル固定ベースをモデル本体の内側からセットします。

※モデル固定ベース両サイドのフックをモデル本体の凹部に合わせて、カチッと音がするまで差し込みます。



2. 腹部カバーを取り付けると準備完了です。



② 妊婦内診トレーニング (実習)

実習・モデルの特長

実習は手袋を装着し、指に潤滑剤を塗布して内診を行います。



子宮口開大度モジュールは5種類です。



《モデルの特長》

- ・坐骨棘を結んだステーション0の認識が可能。
- ・小泉門による児頭の位置確認が可能。



○ 子宮口開大度モジュールの交換

モデル固定ベースの左右にある黒いつまみを手前に引いてロックを外し、固定ベースを取り外します。子宮口開大度モジュールを付け替え、固定ベースを再度セットして実習を行います。



③ 妊婦内診トレーニング(後片付け)

後片付け



○ 外陰部ユニットの取り外し

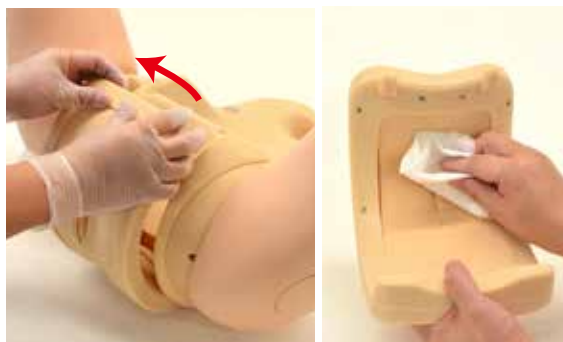
1. 腹部カバー持ち上げモデル本体からはずします。

2. モデル固定ベースの左右にある黒いつまみを手前に引いて固定ベースを取り外します。ウェットティッシュ等で子宮口開大度モジュールに付着した潤滑剤を拭き取ってください。



3. 膣部ユニットの端を指で持ち、手前に引き出して取り外します。ウェットティッシュ等で付着した潤滑剤を拭き取ってください。

4. 外陰部ユニットは、フレーム上部を手前に引いてボディから取り外します。ウェットティッシュ等で付着した潤滑剤を拭き取ってください。



※潤滑剤は水道水で洗い流していただいても構いませんが、十分に乾燥させ、付属のタルカムパウダーを塗布してください。

外陰部ユニットと膣部ユニットは、特殊軟質樹脂を使用しております。
保管時は、外陰部ユニットと膣部ユニットは付属の不織布の袋に入れて保管してください。

注：他の樹脂製品や印刷物と一緒に保管されますと、長時間接触した他の樹脂製品が変質したり、印刷物のインクが吸収されて消えなくなります。

① 分娩介助トレーニング (準備)

胎児モデルの組立

1. 胎児モデルの準備

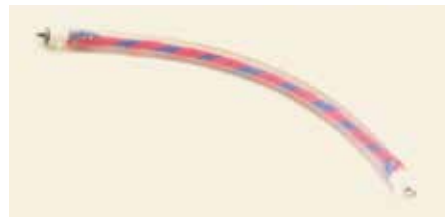
胎児モデル、胎盤モデル、臍帯、切断用臍帯、卵膜、バット、潤滑剤を用意します。



胎児モデル



胎盤モデル



臍帯



切断用臍帯



卵膜



バット



潤滑剤

2. 胎盤モデルを専用の収納袋から取り出し、臍帯を取り付けます。

臍帯は先端がねじになっている方のリングを時計方向に回して胎盤に固定します。



3. 卵膜の中央に穴が開いているので、そこに臍帯を通します。



4. 切断用臍帯を専用の収納袋から取り出し、片側の先端部を裏返してフックを出し、そこに臍帯の金具を取り付けます。



胎児モデルの組立

4. 胎児モデル腹部の白いネジを緩め、中に入っているクリップを取り出します。



5. クリップで切断用臍帯の先端を挟み、胎児モデル腹部凹部にクリップを戻して白いネジで切断用臍帯を固定します。



※クリップを胎児モデルの腹部凹部にクリップを戻す際は、クリップの向きにご注意ください。

6. 胎児モデルの準備は完了です。



潤滑剤の塗布(準備)

実習前に必ず胎児モデル、胎盤モデルと卵膜、外陰部ユニットの内側に潤滑剤を十分に塗布してください。

1. 付属のバットに、胎盤モデルを取り付けた胎児モデルを置き、潤滑剤を塗布します。
潤滑剤は、胎児モデル全体と胎盤モデル上の卵膜部分に塗布します。



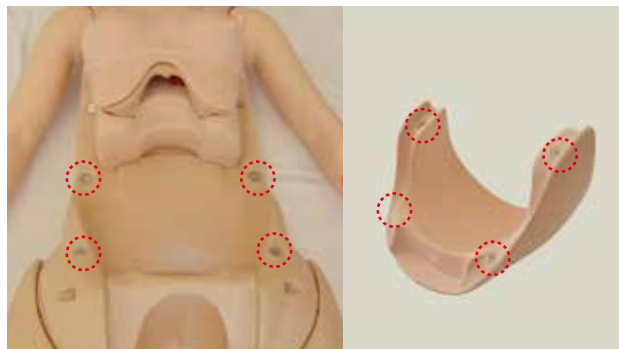
2. 外陰部ユニットの内側にも潤滑剤を塗布します。

※モデル本体に取り付けてから塗布いただいても構いません。



モデル本体の組立

1. モデル本体の腹部カバーをはずします。カバーは4か所のマグネットでボディに固定されており、上部を持ち上げることで取り外すことができます。



モデル本体の組立

2. 外陰部ユニット下部2箇所凸部をモデル本体の凹部に差し込み、そのまま上部を押さえると固定されます。



注：外陰部ユニットとボディの隙間に指を挟まないようご注意ください。



3. ボディの腹部カバーを元に戻し、胎児モデルを腹部にセットして準備は完了です。

※胎盤モデルは必ず付属のバットに入れて実習を行ってください。



分娩体位

実習は仰臥位、側臥位、四つん這いで行うことができます



② 分娩介助トレーニング(実習)

○ 会陰、肛門保護



○ 分娩介助



○ 胎児の娩出



○ 臍帯の結紮、切断



○ 胎盤の娩出



○ 胎盤・卵膜の確認



③ 分娩介助トレーニング(後片付け)

○ 外陰部ユニットの取り外し

1. 腹部カバーを持ち上げ、ボディ本体からはずします。
2. 外陰部ユニットのフレーム上部を手前に引いてボディから取り外します。



○ 胎児モデルの分解

1. 組立と逆の手順で、臍帯、胎盤モデルを取り外します。(P33 参照)

○ 各部の清掃と保管

1. ウエットティッシュ等で胎児モデル、臍帯、卵膜、外陰部ユニットに付着した潤滑剤を拭き取ります。水道水で洗い流していただいても構いませんが十分に乾燥させてください。乾燥後、各部品に付属のタルカムパウダーを塗布します。



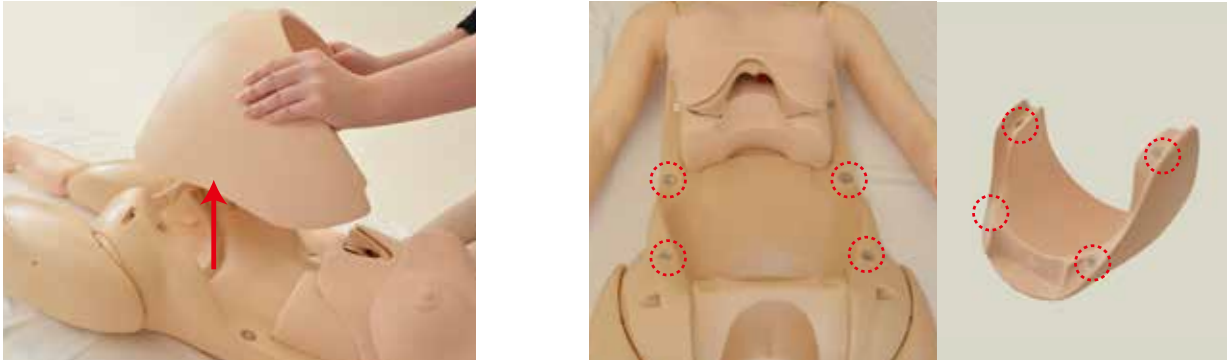
2. 外陰部ユニット、胎盤モデル、切断用臍帯は特殊軟質樹脂を使用しておりますので、保管時は付属の不織布の袋に入れて保管してください。

注：他の樹脂製品や印刷物と一緒に保管されますと長時間接触した他の樹脂製品が変質したり、印刷物のインクが吸収されて消えなくなります。

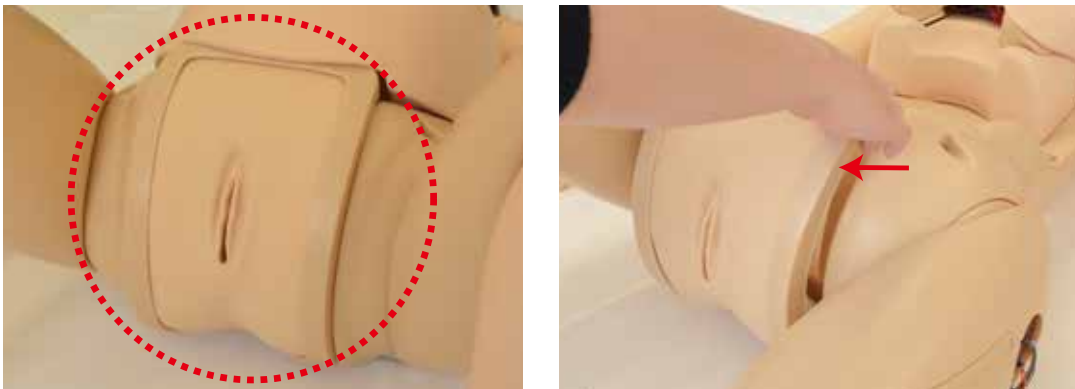
① 会陰裂傷縫合トレーニング(準備)

外陰部ユニットの取替え

1. モデル本体の腹部カバーをはずします。カバーは4か所のマグネットでボディに固定されており、上部を持ち上げることで取り外すことができます。



2. 納品時に取り付けられている内診・分娩介助共通の外陰部ユニットを取り外します。外陰部ユニットのフレーム上部を持ち、手前に引くとユニットをボディから取り外すことができます。



○ 会陰縫合用の外陰部
ユニットへの交換



内診・分娩介助共通の
外陰部ユニット

会陰縫合用の
外陰部ユニット

外陰部ユニットの取替え

3. 外陰部ユニット下部2箇所凸部をボディの凹部に差し込み、そのまま上部を押さえると固定されます。



注：外陰部ユニットとボディの間隙に指を挟まないようご注意ください。



4. 腹部カバーを取り付けて準備は完了です。



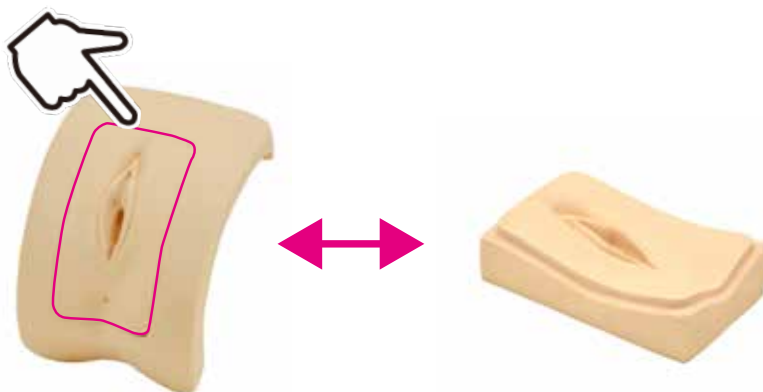
② 会陰裂傷縫合トレーニング(実習)

会陰裂傷第1度を想定した縫合法を繰り返してトレーニングできます。
会陰裂傷縫合実習では単一結節縫合と垂直マットレス縫合を実習します。



③ 会陰裂傷縫合トレーニング(後片付け)

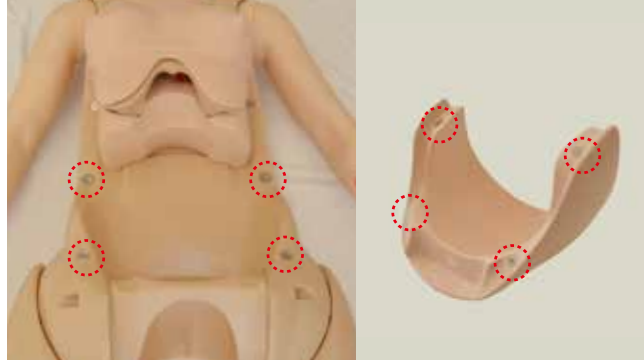
1. 実習は縫合糸を切って縫った糸を取り去って頂くと、続けてトレーニングできます。
2. 新しい外陰部ユニット(会陰裂傷縫合用)の交換や他の外陰部ユニット(内診・分娩介助共通)への交換方法は57ページを参照に行ってください。
3. 外陰部皮膚を交換する際は、外陰部ユニット(会陰縫合用)と外陰部皮膚の隙間に指を差し込んで取り外し、新しい皮膚を取り付けます。



① 産じょく子宮触診トレーニング (準備)

モデル本体の組立

1. モデル本体の腹部カバーをはずします。カバーは4か所のマグネットでボディに固定されており、上部を持ち上げることで取り外すことができます。



2. 外陰部ユニット下部2箇所の凸部をモデル本体の凹部に差し込み、そのまま上部を押さえると固定されます。



注：外陰部ユニットとボディの隙間に指を挟まないようご注意ください。



3. モデル本体に子宮モデル用ベースを取り付けます。



4. 交換する子宮モデルを取り付けます。子宮モデル下部の凸部をモデル本体の凹部に合わせます。



5. 腹部カバー（産じょく子宮触診用）をモデル本体に取り付けてください。



子宮の設定

● 子宮の設定（4種類）

良好（腹壁と子宮の境界が明瞭で硬く触れる）

不良（子宮が柔らかく触れるか境界不明瞭）



1日目
良好



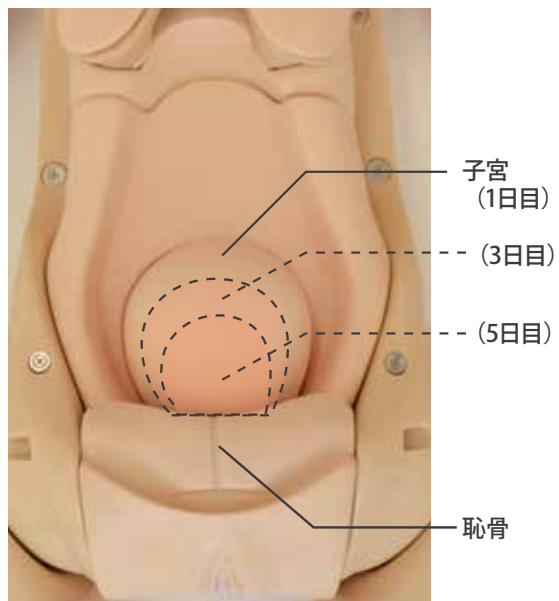
1日目
不良



3日目
良好



5日目
良好



② 産じょく子宮触診トレーニング(実習)

実 習



子宮底の触診



子宮底長の計測

③ 産じょく子宮触診トレーニング(後片付け)

後片付け

1. 腹部カバー表面に付いた汚れは、水や中性洗剤を使用し、よくしぼった布等で拭き取ります。乾燥後、タルカムパウダーを塗布します。



① 硬膜外穿刺（準備）

背中に硬膜外穿刺パッドを入れます。
 ※最初はモデルに装着済み



② 硬膜外穿刺（実習）

側臥位で実習を行ってください。
 模擬的に穿刺した針とカテーテルの固定のみ行うことができます。

※水は使用できません。



① 経管栄養（実習）

半座位の体位で実習を行ってください。鼻腔や口腔よりカテーテルを挿入手順を確認やテープ固定など、経管栄養の手順を実習できます。

実習時はカテーテルや鼻腔・口腔部に付属のトレーニングモデル用潤滑剤を十分に塗布してください。不十分だと、カテーテルの挿入が困難になります。



注意

- ・栄養カテーテルは 12Fr をご使用ください。
- ・潤滑剤は付属のトレーニングモデル用潤滑剤を使用してください。ゼリー状の潤滑剤などは内部で乾燥凝固し残留することがありますので使用しないでください。
- ・テープ固定をする際には、粘着性綿布伸縮包帯またはドライサージカルテープを推奨。

② 経管栄養（後片付け）

固定に使用したテープは必ずはがし、カテーテルを抜去します。カテーテルや鼻、口腔部に付着した潤滑剤をウェットティッシュ等で拭き取ります。



注意

固定用のテープを貼った状態で片づけないでください。長時間テープを貼ったままの状態にすると、モデル本体の表面にテープの粘着剤が吸着し、ベタつきがとれなくなります。

清拭・部分浴 (モデルの設定・実習)

- ・ 実際の妊産婦に行うような全身清拭や足浴の実習が可能です。



体位変換・体位保持・移動介助・関節可動域訓練

- ・ 腕、脚部は人体に近い可動域を備えており、体位変換などの様々な体位をとらせることができます。
- ・ 座位姿勢をとらせることができます。
- ・ 指を曲げたり、開けたりすることができます。

体位変換・体位保持・移動介助・関節可動域訓練実習が可能です。



口腔ケア (準備・実習)

口腔ケアの一連の手順を実習できます。

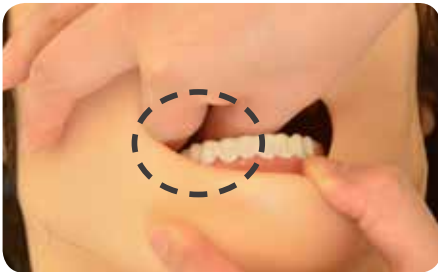
- ・ブラッシング介助



■ 歯の取り外し

上下の歯共、奥歯を持ちあげるようにして外します。

上の歯は、前歯部分を引きぬくようにしても取り外すことができます。



※写真は指をあてる位置を模式的に表したものです。

■ 歯の取り付け

口腔内に歯を入れ、歯裏面の溝部分とモデル本体の歯茎の凸部の位置を合わせ、歯全体をしっかりとめ込みます。



酸素吸入

酸素吸入の一連の手順をトレーニングできます。



① 吸引 (実習)

経鼻・経口・気管切開部からの吸引の手順を実習できます。

※模擬痰などを使用して実際の吸引を行うことはできません。



1. カテーテルと鼻腔、口腔、気管切開部に付属のトレーニングモデル用潤滑剤を軽く吹きつけてください。



- ・吸引カテーテルは 10 ～ 14Fr. をご使用ください。
- ・潤滑剤は付属のトレーニングモデル用潤滑剤をご使用ください。ゼリー状の潤滑剤などは内部で乾燥凝固し残留することがあるため、使用しないでください。

2. 気管切開部へのカテーテル挿入は、首の気管切開栓を抜いて、気管切開チューブを気管切開部の穴に装着して実習を行います。気管切開部のガーゼ交換や、チューブの清拭も実習できます。



気管切開部は穴をあけた構造のため、お手持ちの気管切開チューブなどを使用された場合、上手く装着できないことがあります。使用するチューブは弊社取り扱い品の「PORTEX 気管切開チューブ II MY-102 2746-020」を推奨いたします。



② 吸引 (後片付け)

1. 実習に使用したカテーテルや気管切開チューブを取り外します。

2. カテーテルや気管切開チューブ、鼻・口腔部に付着した潤滑剤をウェットティッシュなどで拭き取ります。



① 点滴静脈内注射 (準備)

2. 排水チューブの接続

モデル本体右側にある凹部にあるコネクタのうち、白色の排水コネクタに貯水袋(小)のコネクタを接続します。その後、チューブについているチューブコックを開放の状態にします。点滴静脈内注射の量が多い場合は排水袋(小)のかわりに排水チューブをとりつけてください。接続した排水チューブの先端はバケツなどのなかに入れておきます。

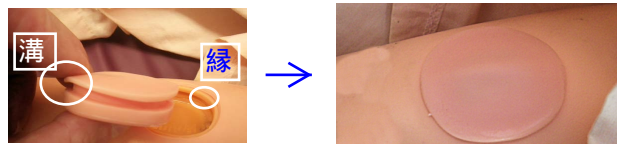


② 点滴静脈内注射 (実習)

- ・左腕の正中静脈では、点滴静脈内注射、および装着時の滴下確認の実習が可能です。
- ・手背部では点滴静脈内注射のテープ固定の実習(装着時のケア)ができます。



・パッドと腕の間から水漏れが発生した場合は、パッドをいったん外して装着し直してみてください。パッドの溝が腕穴の縁に填まっていない場合があります。



③ 点滴静脈内注射 (片付け)

チューブ内の排水

貯水袋 (小) のチューブコックを閉じたのちジョイント部のボタンを押しながら貯水袋を取り外します。排水チューブにはチューブコックは付属しませんのでそのままジョイント部のボタンを押しながら取り外してください。はずしたジョイント部に排水ポンプ (コネクター小) を接続します。



正中静脈注射パットを取り外し、腕の穴にティッシュペーパー 2 枚程度を丸めて差し込み、排水ポンプでチューブ内の水を排出します。排出後、パット取り付け部と取り外したパットの水分を拭き取り、十分に乾燥させてからパットを腕部に取り付けます。



① 気道確保・気管挿管の準備と介助 (実習)

救急対応の看護を想定した挿管介助のトレーニングが可能です。

- ・器具類の準備
- ・経口挿管 (喉頭鏡・ビデオ喉頭鏡)
- ・挿管後の聴診
- ・気管チューブの固定
- ・換気の挙上確認
- ・胸骨圧迫



気管チューブの挿入

気管チューブ挿入実習の際には、口腔内と気管チューブの挿入部に付属のトレーニングモデル用潤滑剤を塗布しておきます。



気管チューブ挿入実習にあたっては、喉頭鏡はマッキントッシュ型 (曲型) ブレードサイズ No.4 を、気管チューブは内径 7.0、7.5mm を推奨します。
潤滑剤は付属のものをご使用ください。ゼリー状の潤滑剤などは内部で乾燥凝固し残留することがありますので使用しないでください。

挿管後の確認

聴診器での送気音の確認と、胸部の挙上で適正に気管チューブが挿入されたことが確認できます。
食道挿管の場合は胸の挙上がみられません。



ビデオ喉頭鏡による気管挿管

実習の際には、モデル本体の口腔内とビデオ喉頭鏡の挿入部に付属のトレーニングモデル用潤滑剤を塗布してから行ってください。



.....
 実習では、必ず付属のトレーニングモデル用潤滑剤をご使用ください。

気管チューブの固定

気管チューブのテープ固定、THOMAS 固定が実習できます。



.....
 テープ固定をされる際には、粘着性綿布伸縮包帯まやドライサージカルテープを推奨します。テープを貼ったままの状態では片づけないでください。長時間張ったままの状態にすると、モデル本体の表面にテープの粘着剤が吸着し、べたつきがとれなくなってしまいます。

② 気道確保・気管挿管の準備と介助 (片づけ)

潤滑剤の拭き取り

実習後は気管チューブやモデルの口腔部の潤滑剤をウェットティッシュ等で拭き取ってください。



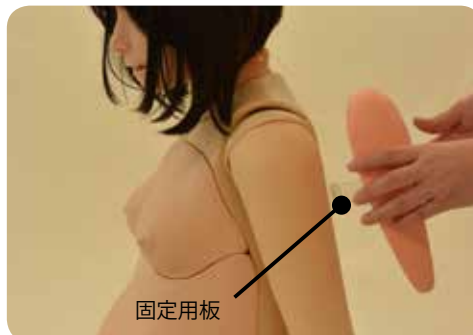
① 皮下・筋肉内注射 (準備)

上腕注射パットの
取り付け・取り外し

● 取り付け

上腕注射パットの形状は
左右どちらにも使用できます。
注射パットの固定用の板を開いて
右図のように取りつけてくださ
い。

上腕注射パット取り付け



取り付け位置



● 取り外し

注射パットの固定用の板を開いてはずしてください。

※脱着は必ず固定用の板を開いて行ってください。無理に行くと皮膚が破れる恐れがあります。



.....

上腕・注射パットをモデルに取り付けたまま放置されますと、モデルに固定用の板の痕などが残るので、
実習後は速やかに取り外してください。
注射パット内に水が入ったまま放置しないでください。片づけ方については次項を参照してください。

② 皮下・筋肉内注射 (実習)

上腕部で皮下注射ケアの実習が可能です。
また、上腕部で筋肉内注射ケアの実習が可能です。



.....

皮下注射は 24-27G、筋肉内注射は 21-23G の
注射針を使用してください。



③ 後片付け

<実習後の処置>
上腕注射パット

● パットの分解と処置



1. 固定用の板を内側へ寄せて、間にはさんである皮膚をはずしてください。
2. 皮膚をめくって中のスポンジと透明土台をはずしてください。
3. スポンジは絞って、皮膚と透明土台ははずしたまま各々十分に乾かしてから組んでください。



.....

スポンジを洗う際は、引っ張ったり、ひねったりしないでください。スポンジが切れる原因となります。使用後、スポンジを洗う際は軽く絞る程度にしてください。

● パットの分解と処置

1. 透明土台のネジが出ている側にスポンジを合わせて、細い側から皮膚をかぶせてください。
2. 固定用の板を内側に寄せて、間に皮膚の端をはさみこんでください。（左右）

⚠ 注意 モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

交換部品

コード番号	部品名
11406-040	かつら(成人女性)
11229-050	トレーニングモデル用潤滑剤
11415-040	潤滑剤 助産演習用 500ml(詰め替え用)
11415-050	潤滑剤 助産演習用 500ml(詰め替え用と専用ボトル)
11415-010	子宮口開大度モジュール 5種組
11415-030	外陰部ユニット
11416-010	胎児モデル
11416-020	胎盤モデル
11416-030	切断用臍帯 10本組
11416-040	卵膜 5枚組
11417-020	外陰部ユニット 皮膚付き(会陰縫合用)
11417-010	外陰部皮膚 2枚組(会陰縫合用)
11418-020	子宮モデル 4種組

その他の交換部品についてはお問合せください。



11406-040



11229-050



11415-040 : 11415-050



11415-010



11415-030



11416-010



11416-020



11416-030



11416-040



11417-020



11417-010



11418-020

別売部品

コード番号	部品名
11251-030	上腕注射パッド



11251-030

